

## Library Information

## 図書室からのお知らせ

## ■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447 (内線331)  
✉klg110@town.kosai.g.jp

## 泥沼の日常を抜け出し新たな人生へ

奥田 英朗著 / 『ナオミとカナコ』



幻冬舎

小説

望まない職場で憂うつな日々を送るOLの直美。夫のひどい暴力に耐える専業主婦の加奈子。30歳を目前にして、受け入れがたい現実を追いつめられた2人が下した究極の選択…。「いっそ2人で殺そうか、あんたの旦那」。共感してしまったらもう抜け出せない、ドキドキの連続で息が詰まるようなスリルを味わえるおすすめの1冊です。

## 食べ物の好き嫌いのある子におすすめ

塚本 やすし作 / 『やきざかなののろい』



ポプラ社

児童書

やきざかながきらいな男の子が、夕食のやきざかなを食べ散らかして食べたふり。これはよくない。そんなことするとやきざかなが、お風呂にも、寝床にも、外にも、どこでもついてきて、「きらいなでくれー」というのです。やきざかなののろいはこわい…。すききらいのある子もいない子も読んでほしい、おもしろい食育の絵本です。

## 認知症の母への深い愛情が伝わる

岡野 雄一著 / 『ペコロスの母の玉手箱』



朝日新聞出版

一般書

映画にもなったベストセラー『ペコロスの母に会いに行く』第2弾。長崎を舞台に、認知症の91歳の母の「今」と「昔」を64歳の息子が漫画で描く。笑いあり涙ありの介護というところは前作同様ですが、今作は母・みつえさんの「人生」と「死」を描いています。淡々と描かれていますが、深い愛情と感謝の気持ちが詰まった1冊です。

## 50年の「熱い思い」を未来へ届ける

行吉 正一著 / 『東京オリンピックと新幹線』



青幻社

娯楽・教養

終戦からわずか19年の1964年、奇跡の復興を成し遂げた日本は、その証として東京オリンピック・パラリンピックを開催、東海道新幹線の開業を実現させ、世界中の人々を驚かせた。50年後の今こそ、先人たちの「熱い思い」を未来へつなげる。貴重資料をはじめ、写真や新聞など約450点収録。当時の感動秘話やこぼれ話なども楽しめます。

## 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

先日、「この本はなかなか面白かったですよ」と人にすすめました。本当は「この本、すごい本ですよ！」と熱く語りたかったのですが、そこをぐっと我慢して。

この本に描かれているのは、社会の闇、人間の心の闇、弱さ、甘さ、醜さ、悲しさです。

平凡な1人の女が不幸の坂を転がり落ちていき、真つ暗な闇

に捕まって、周りが見えなくなり、自分をも見失い、さらに深い闇に向かって落ちていきます。読んで

## 今月の案内人



村上 律子さん  
(緑町区)

## ～ My Favorite Story ～

## 私のおすすめ図書

『絶叫』（葉真中 顕著）

涙、感動、驚き、どんな言葉も足りない1人の女の壮絶な物語。保険金殺人のからくり、孤独死の謎…。ラストまで息もつけない圧巻のミステリー。

いて気分の良いはずもなく、やりきれなさに苛まれ、疲弊してしまいます。

しかし、圧倒的なリアリズムに引き込まれ、ページをめくる手を止めることができません。そして、たどり着いた衝撃の真実に打ちのめされました。最後のページに描かれている美しい光景には、不思議なことに解放感と救いがあり、私は湧き上がる色々な感情を整理できず

混乱しながらも、深い余韻を味わいました。

そして、静かに本を閉じ、何気なく見た表紙に、息を飲みました。

そこには主人公の命の「絶叫」があったから。

本当にすごい本です。興味のある人は、覚悟してお読みください。

## Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

### ▶ 公民館主催講座のご案内

#### 「町民大学」植木市見学

- 開催日時 1月27日(火) 午前9時30分～午後3時
- 集合場所 町生涯学習センター
- 行き先 県農業公園(合志市)
- 参加費 無料(昼食は各自負担)
- 定員 50人程度
- 申込開始日 1月7日(水)

#### 「たこあげ大会」

- 開催日時 1月17日(土) 午前10時～
- 会場 中甲橋グリーンパーク  
※各自たこを持参してください。  
※雨天の場合は中止となります。
- お申し込み先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)



- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp



### ◀ 町民大学・講演会 相続や終活を考える

11月12日(水) 町生涯学習センターで、町民大学を開催しました。

講師の岡村泰さん(KK大成財産コンサルティング)が「老後の不安を解消する相続や終活について」



▲相続などについて分かりやすく説明する講師の岡村さん

「老後の不安を解消する相続や終活について」の演題で講演を行い、相続に関する手続きについて受講者15人に説明しました。

相続財産は、現金や預貯金、家や土地などのすべての財産で、相続する場合は死亡後10か月以内に税務署に申告し相続税を納税しなければなりません。相続税の基礎控除が平成27年度から引き上げられることや生前贈与の場合、年間110万円以上は贈与税が掛かるなど、ためになる話に、参加者は「勉強になりました」と話しました。

### ▶ 主催講座・絵手紙教室 絵手紙の年賀状づくり

12月9日(火) 町生涯学習センターで、公民館主催講座「第3回絵手紙教室」を開催しました。

講師の野口由美子先生(宇城市)の指導の下、年賀状を作成。「下手でいい、



▲講師の野口さんの指導の下、絵手紙の年賀状を描く参加者

ひよつとこ、来年の干支である羊の置物など、受講生が持ち寄った柚子やミカンなどをはがきいっぱいにゆつくりと筆を進ませ大胆に描きました。顔彩で色付けをすると、贈る人へ心のこもった豊かな絵手紙が完成し、「年始のあいさつの準備ができた」と参加者は喜びました。

## Human Rights

人権～心豊かに暮らすために～

### 平成26年度甲佐町「人権週間」

#### ●人権について町全体で考える

12月4日(木)～10日(水)、平成26年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、甲佐町「人権週間」実行委員会(豊永康法会長)、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的な人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権(法律)相談の開設、街頭や企業訪問における人権啓発広報活動の実施、書道や標語



▶ 町民集会で講演する飯開さん

など人権作品の展示などが行われました。

同週間のメイン行事として、12月6日(土) 町生涯学習センターで、第32回甲佐町「人権週間」町民集会を開催。約170人が参加し、町内

の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などがありました。

人権講演会では、人権バンド「ゆう」のメンバーである講師の飯開輝久雄さんが「ほら、あなたのそばに人権を考えるきっかけが…」という演題で歌などを交えた講演を行い、集会の後には人権パレードも行って、人権意識を高めました。



- 人権に関するお問い合わせ先  
町教育委員会社会教育課  
☎096-234-2447(内線324)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

